

神奈川県立がんセンター

病理診断科 レジデント募集（令和9年度・第41期生）

がん診療の中核を担う力を、神奈川県立がんセンターで身につけてみませんか。

当科では、豊富ながん症例に基づく外科病理診断を基盤に、多診療科との合同カンファレンス、分子病理・遺伝子パネル検査・エキスパートパネルを含むがんゲノム医療まで、幅広く実践的に学べる環境を整えています。**病理専門研修（専攻医）を修了された方・修了見込みの方を歓迎します。**

※専門医取得までの経路については施設要件がありますので、詳細は各自事前にご確認ください。



病理診断科 メンバー（国際留学生受け入れ時）

当科の特色

1) 多彩な症例とチーム診断

主要臓器から希少がんまで幅広い豊富な症例。臓器担当制とダブルチェックで診断の質を担保します。診断難渋症例は合同カンファレンスで検討し、必要に応じて外部コンサルタントの助言も得ています。

2) 臨床連携の密度

臓器別カンファレンスを定期開催し、病理所見の臨床的意義をその場で共有。追加検査の提案や方針決定に直結する対話が日常的です。

3) がんゲノム医療への実務参画

遺伝子パネル検査の検体選択や結果解釈、エキスパートパネルへの参画を通じ、分子病理の実践機会が得られます。

4) 学術活動への手厚い支援

学会年会費・参加費・旅費は当科の予算等を活用し、英文論文の英文校正費・掲載料（APC）は病院の支援制度により、いずれも原則として全額を補助します。

学会発表や英文論文投稿に、原則として自己負担なく取り組める体制を整えています。併設の臨床研究所との協働による学術活動も推進しており、選考により欧米の主要ながん関連学会へ出張する機会もあります。

数字で見る当科

組織診	細胞診	術中迅速病理診断	治験業務
年間 約 12,500 件	年間 約 8,000 件	年間 約 800 件	年間 約 300 件

診断体制：常勤病理医 6 名／非常勤 13 名／病理検査技師 12 名

（うち細胞検査士 7 名、認定病理検査技師 3 名）／事務補助 3 名

指導体制：病理専門医・指導医、分子病理専門医、細胞診専門医・指導医が指導にあたります。

レジデントとしての研修

- 研修期間は 2 年を原則とします。
- 当科を希望される方は、研修期間を通じて病理診断科で研修します。
- 切り出しから鏡検、カンファレンスでの所見提示までを、指導医とのディスカッションを通じて一貫して経験します。
- 指導医のもとで各種研究会・学会報告、論文作成を行います。
- 研修修了者には当センター総長の修了証が授与されます。

最近の学術業績

当科では、所属病理医のみならず、他診療科のレジデントとの共同研究や英文論文作成支援にも取り組んでいます。以下は、当科所属医師ならびに当科をローテートした他診療科レジデントが、筆頭著者として発表した論文の一部です。

-
- **Kanno C**, et al. Histologic heterogeneity of primary and nodal lesions and intra-nodal comparative analysis after neoadjuvant selpercatinib in RET fusion-positive papillary thyroid carcinoma. **Human Pathology Reports** 2026;43:300822.
 - **Yuguchi S**, et al. Determinants of nucleic acid quality in formalin-fixed paraffin-embedded bladder urothelial carcinoma specimens: effects of specimen type, fixation conditions, and storage time. **Ann Diagn Pathol** 2026;85:152681.
 - **Okubo Y**, et al. Cribriform pattern and IDC-P in prostate biopsies: prognostic relevance and reporting in metastatic disease. **J Pathol Clin Res** 2025;11:e70052.
 - **Washimi K**, et al. Chemokine expression in well-differentiated liposarcoma may be involved in the tumorigenesis of lymphoplasmacytic lymphoma: a case study. **Cancer Rep (Hoboken)** 2025;8:e70129.
 - **Okubo Y**, et al. Effect of storage temperature on nucleic acid quality in formalin-fixed paraffin-embedded tissue samples. **Ann Diagn Pathol** 2025;78:152496.
 - **Washimi K**, et al. Evaluation of pancreatic cancer specimens for comprehensive genomic profiling. **Pathol Int** 2024;74:252-261.
 - **Ono Y**, et al. Primary omental smooth muscle tumor in an adult male: a diagnostic dilemma for leiomyoma: a case report. **J Med Case Rep** 2024;18:222.
 - **Okubo Y**, et al. Effective preparation of FFPE tissue samples for preserving appropriate nucleic acid quality for genomic analysis in thyroid carcinoma. **Endocr Pathol** 2024;35:372-384.
 - **Hasegawa C**, et al. Differential diagnosis of uterine adenosarcoma: identification of JAZF1-BCORL1 rearrangement by comprehensive cancer genomic profiling. **Diagn Pathol** 2023;18:5.
 - **Okubo Y**, et al. Histological findings of thyroid cancer after lenvatinib therapy. **Histopathology** 2023;83:657-663.
 - **Washimi K**, et al. Histological markers, sickle-shaped blood vessels, myxoid area, and infiltrating growth pattern help stratify the prognosis of patients with myxofibrosarcoma/undifferentiated sarcoma. **Sci Rep** 2023;13:6744.

募集要項（抜粋）

応募資格	※当院は日本病理学会の登録施設ですが、病理専門研修プログラムの基幹施設ではありません。臨床研修修了見込みの方が当科で研修される場合、専門医取得には連携大学の専門研修プログラムへの登録が必要となります。 ※このため当科では、病理専門研修（専攻医）を修了された方・修了見込みの方のご応募をお勧めしております。
出願締切	令和8年9月3日（木） 当日消印有効
試験日	令和8年9月24日（木） 会場：神奈川県立がんセンター

※公募の詳細は、必ず下記の公式募集要領をご確認ください。

[募集要領（PDF）](#)

https://kcch.kanagawa-pho.jp/data/media/kanagawa_iryuu/page/recruit/20260701_resident.pdf

[病院ホームページ（医師募集ページ）](#)

<https://kcch.kanagawa-pho.jp/medical/recruit>

応募・研修に関するお問い合わせ

応募や研修についてのご質問・ご相談は、下記メールアドレスまでお気軽にご連絡ください。職場見学をご希望の場合も、随時日程を調整いたします。

担当	病理診断科 部長 大久保 陽一郎
メール	ookubo.0940f●kanagawa-pho.jp （●を@に変換してください）



神奈川県立がんセンターで、共にがん診療を支える病理診断に携わりませんか。

皆様のご応募を心よりお待ちしております。